

「情報メディア工学」	教科	工業	単位数	2単位
	学科、学年、組	情報デザイン科、3学年、6組		
使用教科書	「自作プリント」			
副教材等	「情報メディア」(実教出版)			

1 科目のねらい(目標)

学習の到達目標	<p>工業に関する科学的な見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習を行うことなどを通して、工業の発展を支える情報の表現に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 工業の各分野における情報メディアについて体系的・系統的に理解するとともに、工業に関する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 工業の各分野における情報メディアに関する課題を発見し、工業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 適切な情報メディアを自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。"</p>
---------	---

2 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、以下の観点について各観点の割合を基に評定(5段階)で総括します。

評価の観点及び内容		観点の割合	評価方法
知識・技術	適切な情報メディアを自ら学び、これからの情報工学の維持と発展のためにメディアを活用して情報を主体的かつ協働的に取り組む態度理解してことにも、関連する技術を身に付けている。効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身に付けているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	40%	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み状況 ・提出ノート/課題などの内容
思考・判断・表現	情報メディアに関する課題を発見し、情報メディアに携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を付けている効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身に付けているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している	30%	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業中の発信など
主体的に学習に取り組む態度	情報メディアについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。	30%	<ul style="list-style-type: none"> ・提出ノート/課題などの内容

3 学習計画

学期	学習内容	学習のねらい
1	第1章 メディアの基礎 1節 メディアの定義と機能 2節 メディアの種類と特性 第2章 メディアの特性と活用 1節 情報メディアの種類と特性	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の定義、特徴を理解する。 ・メディアの定義、特徴を理解する。 ・社会の変化の流れ、それに伴う生活の変化の過程を知る。 ・メディアの変化を知り、メディア選択による情報取得力を養う。 ・新聞、出版、音楽、テレビ、映画の変化について学ぶ。 ・配信方法、受信者の情報選択方法の変化の流れを知る。 ・コミュニケーションスタイルの変化について理解する。 ・メディアの役割、分類、関連性、適切な利用について理解する。 ・情報、表現、通信、各メディアの役割と特性を理解する。 ・さまざまな情報メディアについて理解する。
2	第2章 メディアの特性と活用 2節 REPORT 制作現場 3節 情報メディアの活用 第3章 情報メディアと社会 1節 情報メディアが社会に及ぼす影響	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞、書籍、広告チラシの制作現場、過程を理解する。 ・テレビ番組、アニメーションの制作現場、過程を理解する。 ・Webサイトの制作現場、過程を理解する。 ・情報メディアを活用した問題解決、活用方法を養う。 ・情報発信者の倫理を養う。 ・情報メディアの歴史を知る。 ・学校や社会教育施設の変化について知る。 ・メディアリテラシーについて理解する。 ・情報社会で守るべきことを学ぶ。 ・情報メディアによる社会参加について学ぶ。
3	第3章 情報メディアと社会 2節 情報メディアと情報産業	<ul style="list-style-type: none"> ・情報社会と情報産業を理解する。 ・さまざまな情報産業について知る。 ・ユーザー参加型のメディアと情報産業について理解する。 ・これからの情報メディアを知り、可能性について考える。